

# 寒河江市教育委員会会議録

平成30年8月21日 開会

寒河江市教育委員会

平成30年8月21日（火曜日） 寒河江市教育委員会

○ 出席委員（5名）

教育長 軽部 賢 委員 鈴木 淳一 委員 國井 晴彦  
委員 高橋 まり子 委員 鈴木 多鶴子

○ 欠席委員（0名）

○ 事務局職員の職氏名

学校教育課長 佐藤 和好 指導推進室長 山口 義博  
生涯学習課長 高林 雅彦 スポーツ振興室長 鈴木 隆

○ 委員会日程

教育委員会日程

午後1時30分 開議

平成30年8月21日（火曜日）

市立図書館会議室

1 開会

2 議事録承認

3 教育長報告

4 議事

議第19号 教育委員会の事務事業（平成29年度分）の点検・評価について

5 閉会

会議に付した事件

教育委員会日程に同じ

## 1 開 会 午後1時30分

## 2 議事録の承認

### ○軽部 賢教育長

それでは、ただいまから教育委員会を始めたいと思います。

初めに前回の会議録の承認についてお願いします。

(前回会議録を回覧の上、全出席委員が署名を行った。)

## 3 教育長報告

### ○軽部 賢 教育長

7月25日午前中、寒河江市美術館開館10周年記念事業実行委員会があり、最上公実行委員長を座長に、寒河江市美術館開館10周年記念事業に関わって、郷間正観名誉館長の作品展示、市民芸術作品展、10月19日に予定されている美術館開館10周年記念式典について協議を行いました。

7月26日午前中、朝日町「創遊館」において、西村山地区内小中学校の中堅教員を対象とした西村山学校運営研修会に出席してまいりました。村山教育事務所江川久美子所長の「これからの学校に求められる主任等や管理職に期待すること」と題する講話と、陵南中学校佐藤志津男校長の「校長として、次代を担う管理職に期待すること」、村山教育事務所志藤晃一管理主事の「主任等に求められる教育課題への対応と教育法規」の講話を聴講させていただきました。

午後から、文化センターで開講された「寒河江さくらんぼ大学」大学院で、山形大学名誉教授の伊藤清郎先生の慈恩寺の歴史・保存・活用計画を聴講させていただきました。

7月27日、中央公民館を会場に社会教育委員会議があり、教育長挨拶を行いました。山田智海委員長を座長に、社会教育委員の皆様、生涯学習課関係の今年度の事業説明が行われました。

7月28日朝、市民プールで開催された西村山地区学童水泳競技大会で来賓祝辞を行いました。寒河江市水泳連盟の皆様による日本古式泳法と、高校生による近代泳法の模範泳法を見せていただきました。

午後から、文化センターで開催された「イングリッシュ・デー」の昼食の様子や、体育館でのゲームの様子などを参観させていただきました。市内小中学生25名が参加し、昨年度より10名ほど多い参加者がおりました。

7月29日午前中、やまぎんホールで開催された、吹奏楽コンクール山形県大会に出場した寒河江小学校の演奏を聴かせていただきました。マーチングバンドから吹奏楽に切り替えて3年目だそうですが、大変素晴らしい演奏だと感じました。

7月30日午前中、市表彰・感謝状4役審査会に出席しました。

午後から、第2回寒河江市教育事務評価委員会議に出席し、外部評価委員から多くの意見を頂戴しました。

15時45分から香川県で行われたJOCジュニアオリンピックカップ・カヌー全国中学生大会において、カヤックペアで優勝した陵東中3年生の宮林蘭さんにご両親がメダルとトロフィー、カップを持参して報告にいらっしやいました。

7月31日午前中、市校長会研修会がハートフルセンターで行われましたが、途中から参観させていただきました。この日は生徒指導研修で、市の教育相談員の小山三枝子先生から「寒河江市の不登校の現状と対応のあり方」について講話があり、その後、学校規模ごとに校長先生同士の情報交換が行われました。不登校の原因は複合的であり、大規模校の校長先生方は対応に苦慮されている様子を感じました。

午後からは市教育研究所全体講演会が中央公民館であり、山形大学大学院教育実践研究科教授の佐藤節子先生の「子どもたちの笑顔・意欲があふれる学級・学校づくりをめざして」と題する講演を聴講させていただきました。大変説得力のある講演で、またホワイトボード・ケース会議の演習なども取り入れた実践的なもので、先生方にとってはとても勉強になったのではないかと思います。

8月2日、県義務教育課の事業である「子どもベンチャーマインド育成事業」、これは小学校の時期からのキャリア教育と、起業意識醸成を狙ったこの事業を、是非全ての小学校に受けていただくよう、校長先生方を訪問して説明をしました。昼の時間には、市の給食主任・調理師合同研修会に出席し、挨拶と試食をさせていただきました。

8月3日、山形県市町村教育委員会大会で午前中は大会準備と起草委員会、午後からは、大会に臨みました。

8月5日午前中、「学びの里TASSHO」で開催されました「葉山村塾」創立20周年記念式典に出席いたしました。式典後、日本農業経営大学校長、堀口健治先生の基調講演「中山間地域の農業のゆくえと生き残り策」を聴講させていただきました。コンピュータやドローンを活用したこれからの農業経営について、興味深く聞かせていただいたところです。

11時45分から蔵王高原坊平クロスカントリーコースで開催されました、蔵王坊平ジュニア駅伝競走大会及び山形県ジュニア駅伝競走大会の激励に行きました。男子は、過去最高の第3位入賞、女子は過去最高タイの第4位と素晴らしい成績を納めることができました。子ども達の頑張りに大変、心打たれたところでもあります。17時からハートフルセンターで報告会を行い、総監督としての挨拶と表彰を行いました。

8月6日、午前中、さがえっこ育み推進本部第1回会議があり、本部長の挨拶を行いました。会議では、今年度の事業について協議するとともに、関係団体の代表より、学校・家庭・地域の連携の取組について報告をしていただきました。

午後からこころの宿一龍を会場に、西村山教育懇談会が開催されました。今回のテーマは「教員の資質・能力を育てる校長のマネジメント」というテーマでしたので、そのことに関わって、西村山教育長会長として挨拶をさせていただきました。研修では最初に、村山教育事務所江川久美子所長より講話があり、引き続き、校長同士のグループ別協議が行われ、1つのグループを各市町の教育長が担当し、助言を行うという研修でありました。

8月7日、午前中、寒河江市出身の中央児童相談所、船田孝夫所長にご挨拶しに行ってお参りました。陵西中学校生徒のケース会議のことなども話題にさせていただきました。

午後から、朝日少年自然の家で行われていた、寒河江市少年少女合唱団の合宿の様子を参観しました。高橋まり子教育委員が、熱心に指導なさっていました。また今年度から朝日自然の家の所長に就任された後藤秀之所長にもご挨拶させていただきました。

8月8日、市史編纂委員会が文化センターで開催されました。教育長挨拶の後、宇井啓委員長の座長で協議が行われました。現在進んでいる、市史の環境・考古編と最上院日記の編集について説明があり、興味深くお話を聞くことができました。新たに要覧も作成することにもなりました。

午後からは「寒河江さくらんぼ大学」慈恩寺歴史専攻科を聴講させていただきました。山形大学名誉教授伊藤清郎先生より、慈恩寺の貴重文化財と修験場についてのお話でございました。

8月9日、寒河江市教育事務評価委員会会議の第3回目、最終回の会議があり、報告書全体の内容確認を行いました。会議では次年度の評価対象事業を減らしてはどうかということと会議の回数を3回から2回にしてはどうかということが話題になり、判断は事務局にゆだねられました。

8月10日、午前中、県教育庁スポーツ保健課の田村光絵保健・食育主幹、渡辺隆課長補佐、星野祥子主査が来室し、8月28日に実施予定されている県教育委員会主催の異物混入セミナーで寒河江市の事案をお話ししてくださいということで打合せを行ったところでもあります。

午後から県学校給食会家入和彦常務理事が来室し、8月21日からの「りょうこく」による学校給食のパンの再開をお願いしたいとのことで、了解をしたところでございます。

8月13日は夏季休暇をとらせていただきました。

8月14日成人式に教育委員の皆様と出席しました。

8月15、16日と夏季休暇をとらせていただきました。

8月17日、生涯学習課高林課長から図書館で雨漏りがしたというので、状況を見せていただきました。歴史資料室、閉架図書室、視聴覚室、児童図書コーナーなどに雨漏りがございました。

8月18日午後からサハトベに花を会場に、西村山PTA研修大会河北大会が開催され、出席いたしました。寒河江市からは前陵南中PTA会長の荒木茂様、前陵西中PTA会長の猪倉秀行様に表彰状が授与されました。研修は河北町溝延出身の企業組合かほく

イタリア野菜研究会理事長の牧野聡様の「イタリア野菜研究会の活動を通して感じる子ども達の未来」と題する講演を聞いてまいりました。

8月19日、第48回山形県カブラリー開会セレモニーが醍醐小学校体育館で実施され、来賓挨拶をしました。県内各地から、カブスカウト、ビーバースカウト、指導者合わせて約100名が参加していました。開会行事の後、寒河江商工会青年部による「慈恩寺の六地藏」の人形劇を、子ども達と一緒に見せていただきました。

8月20日、市政調整会議がありまして、保育所の今後のあり方について協議したところでございます。

以上でございます。

#### 4 議 事

##### ○軽部 賢教育長

それでは議事に入りたいと思います。最初に「議第19号 教育委員会の事務事業（平成29年度分）の点検・評価について」を議題といたします。事務局より説明をお願いいたします。

##### ○佐藤和好学校教育課長

議第19号 教育委員会の事務事業（平成29年度分）の点検・評価についてご説明申し上げます。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条及び寒河江市教育委員会事務事業点検・評価実施要綱第3条の規定により実施した、教育委員会の事務事業点検・評価の結果については、事前にお配りしました、報告書にまとめてありますのでよろしくお願いいたします。これを今回議会に報告し、ホームページに掲載するにあたり、教育委員会において最終決定をお願いするものでございます。別冊の報告書の最終案につきましては6月の教育委員会協議会において協議していただいた事務局案に、7ページから14ページまでの外部事務事業評価委員の意見や来年度へ向けての課題等を記載したものであります。事務事業評価委員会議については7月から8月にかけて3回開催し、この報告書としてまとめ上げたものでございます。

以上、よろしくお願いいたします。

##### ○軽部 賢教育長

ただいまの説明について、質疑、ご意見等はありませんか。事前に見ていただいているかと思いますが何かございましたらお願いします。

##### ○鈴木淳一委員

いろいろと評価をしていただいてよいと思います。

○高橋まり子委員

この外部評価委員の意見を読ませていただきましたが、評価の時期が7月であるという事で来年度の事業に即反映することが困難だという課題があるという意見をいただいたようですが、それに対してどうお考えなのでしょうか。

○佐藤和好学校教育課長

評価委員の方から、評価委員会議が7月、8月の開催では次年度への事業に反映することが出来ないのではないかという課題があるのご意見をいただいておりますが、評価につきましては、7月、8月に外部評価をしていただいたものを今回の評価報告書として作成し、9月の議会に事務事業評価について報告するという事としており、それに合わせて日程が決まってくるということでもあります。また、この評価を踏まえて次年度の予算要求に十分生かせるのか等、評価委員会議の中でも今後の評価委員会議の進め方についてもう少し検討しなければいけないのではないかという意見もいただいております。来年度については評価の実施時期や会議の回数を減らした中で十分に評価を出来るような体制の検討が必要ではないかと思っております。外部評価委員の意見にも、十分に回答できるような体制や、4月に人事異動があり、事務事業担当者が変わっても、4月からの新しい担当者が調書を作らなければいけないので、そうすると年度初めの時期では大変な面もあります。評価委員会議の回数を減らすとその分、新しい担当者もきちんと事業を把握しながら調書を作成できることもありますし、作成したのも十分に検討できること等もあり、来年度は評価委員会議の2回に減らしてはどうかという意見もいただいておりますので、これらについては今後検討していきたいと思っております。

○軽部 賢教育長

平成29年度事務事業評価をこの時期に実施して平成30年度の事務に反映させるというのはなかなか難しいところです。そして間もなく平成31年度の予算編成に入ってくることもあり、時期的なところはどうかという事は会議の中でも話題になりました。議会への報告の関係などいろいろなことを議論いたしましたが、結局、この時期の実施になるということでございました。課長からもありましたが、事務局の負担軽減を考えて会議を3回から2回に、という意見もありましたし、評価をする対象の事業について、もう少し精査をしていく必要があるのではないかという意見もありました。予算規模の面等、様々考慮してもう少し評価対象の事業を精査し、より効果的に評価が出来ないかということも外部評価委員から意見を頂戴しました。外部評価委員の真木委員は他市町の評価委員をなされているので他市町の状況をお話いただき、それらを考えながら意見を頂戴して、事務局に検討をゆだねられたということでもあります。

○鈴木多鶴子委員

今話に出たような、評価がどう生かせるのかが気になったところで、意見が聞かれても結果的になかなか次年度に反映するのは難しいということになると思うのですが、でも外部評価の意見としてはきちんと出さなくてはいけないというところかと思えます。

もう一点、質問ですけれども、青少年健全育成事業について、陵南中学校で実施されている少年の非行防止及び健全育成に取り組むネットワーク事業とありますが、これは陵南中に限ったことなのですか。

○軽部 賢教育長

青少年非行防止の取組についてはこれまで警察と学校、教育委員会が連携しながらやってきたところであります。陵南中学校は29年度から30年度に寒河江警察署と連携し実施するというのですが、必ずしも手を挙げれば実施できるわけではなく、是非、地域と連携して子供たちの青少年健全育成をやろうということで寒河江警察署から手を挙げていただき、県警本部の方から平成29、30年度について認めていただいたところがあります。その前は河北中学校だったのですが、陵南中が終われば、次は西村山の別の学校ということになりますが、今回の陵南中での取組は学校と関係機関が連携してうまくやっているのではないかという評価だったと思います。

○鈴木多鶴子委員

この取組は市での取組に発展させるということは可能なのですか。

○高林雅彦生涯学習課長

成果を検証させていただいて、そういった取組をぜひ継続していかなければならないという意見が出てくれば検討していかなければならないと思います。

○鈴木多鶴子委員

このように外部評価の意見としてあがっていることが、実際にそういう方向になるかどうかというのは何処で判断されるのですか。

○高林雅彦生涯学習課長

生涯学習課の方での判断になるかと思えます。

○軽部 賢教育長

警察の方の予算措置は2年間になりますが、こういった取組を委嘱が終わったから途絶えさせることではなくて、継続してもらえればいいのではないかと思います。

○鈴木多鶴子委員

警察の方と学校と地域と保護者の方のネットワークはなかなか作れないので、こういったつながりができていれば何かの時に相談しやすいのではないかとということと、いろんな問題が出てきているのでこのような取組も大事ではないかと思ます。

○軽部 賢教育長

陵南学区に限らず学校と警察との連絡制度というのはできているので、そういう連絡制度を活用して、何か起きたからということではなく、未然防止の意味でも日常的に連携していくことは大事だということは校長先生方も認識していると思ます。そういうことを意識してもらうことと、陵南中、あるいは、かつては陵西中でもやっている取組だったと思ますが、このようなことを更に継続していくというのは大事かなと思ますので、教育委員会としても支援していきたいと思っております。

その他ございませんか。

他になれば採決をしたいと思ます。ただいまの説明について、質疑、ご意見等ございませんか。なければ採決をしたいと思ます。議第19号教育委員会の事務事業（平成29年度分）の点検・評価について、を原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

原案のとおり決定いたしました。

本日予定しております議案については以上になりますが、皆さんからその他として何かございませんか。

他になれば、以上で教育委員会を閉会したいと思ます。ありがとうございました。

5 閉 会 午後1時57分